

(平成 18 年 4 月 6 日)

別紙

各班の意見内容

1 班

ホワイトボード板書

資料 1 についての検討

整理された個別内容がそのまま行くようでは疑問である (語尾の整理も含めて)
不必要なものもあるようだ 述語のところ
気持ち的に落ちている部分が多くあるようだ (表現 or 思い という意味)
各班の検討内容 整理した個別内容

市民会議は条文を考えるものではないのでは？

問題あり まとめない方が良かったのでは？ ・全文章をのせる (印・班等の記載しないで)

前文に入れるべき内容の検討

- ・将来のまちのビジョン
- ・めざすべきまちの姿 中でも条文化が必要な項目があるようだ
自治の主体は住民であるという

発表内容

- ・ 資料 1 の内容を検討した。1 年かけて議論してきた個別内容について、この整理では少しさみしいのでは、という感が強くあった。まとめたのでこのような書き方になったのであろうが、これまでの会議の中で議論してきた、条文に入れたいという表現や思いが若干落ちているのかなという感じがあった。各班が検討した内容を事務局で個別内容に整理していただいたが、逆にまとめないで各班の文章を全部載せるような形でみせていただいたほうがよかった。
- ・ 前文に入れるべき内容の検討については、将来のまちのビジョンや目指すべきまちの姿というものを前文に入れた形が望ましいのではないかという話になった。
- ・ 資料 3 の「個別条項から前文に含めるもの」とした項目の中にも、やはり条文化する必要がある項目もあるように思われる。
- ・ 自治の主体は住民である、ということが、前文に入れる基本である。

目的・背景の確認

・まちづくりの主体は市民である

考える、声を上げる、参加する、できれば行動する

資料1について

(市民参加・参画)

- ・...自主自立の意識を高める
- ・...自主自立の意識を育むよう努める 再検討

(住民投票制度)

- ・...住民投票制度を設けなければならない 不要では？
- ・市及び市民は、住民投票制度を活用することができる

(情報)

- ・市民は、市民の個人情報保護をしなければならない ？

(コミュニティ)

- ・市は、コミュニティの定義、あり方、位置付けを明確にしなければならない

できるのか？ 幅が広い

(市の責務)

- ・市は、現場に出て、公平でわかりやすい行政をすべきである
(現状、市民の声、市民の立場に立って...)

前文について

- ・思いやりの心
- ・人づくり (地域間・世代間の)交流

- ・上越市は、先人の営みの中で輝かしい歴史と文化を育んできた。
- ・上越市は、四季折節の美しい自然に抱かれている。
- ・上越市は、みんなで助け合い、支え合い、豊かな心と共に育んでいく。
- ・上越市は、みんなで創る希望に輝くまち、協働のまちづくりを目指す。
- ・まちづくりは、市民一人ひとりが自ら考え、行動する「自治」が基本である。
- ・まちづくりは、安全・安心が基本である。
- ・「情報の共有」、「直接まちづくりに参加・参画」、「住民投票制度」をルール化し、住民意思を直接的に確認」の実践により、明日へのよろこびを実感できるまちをつくる。

発表内容

- ・ 2班は、これまで3本の柱を中心に話を進めてきている。その中の一つとして、「考える、行動する、参加する、ルールを守る、お互いを思いやる」、それからもう一つの柱が「人づくり、あるいは地域間交流、世代間交流というようなものを大切にしなければならない」、もう一つの大きな柱は、「常設型の住民投票条例を制定する」ということを3つの柱にしてきた。
- ・ それらをベースにして、今日は前文、資料 1 について意見交換をした。
- ・ 資料 1 については、「市民参加・参画」のところで、「市民は、まちづくりの担い手として自主自立の意識をもつよう努める」という文章になっているが、ここは「高める」と改めたほうがよい。
- ・ 「市は、市民がまちづくりの担い手として自主自立の意識を育むように努める」については、もう少し検討してみる必要がある。「育むよう努める」という表現でよいのかということであり、これについては答えは出ていないが、検討してみようということになった。
- ・ 「住民投票制度」については、「設けなければならない」と表現されているが、この文章はいらぬのではないか。「市及び市民は住民投票制度を活用することができる」として文章を一本にまとめてみたらどうか。
- ・ 「情報」については、「市民は、市民の個人情報保護しなければならない」とあるが、これは少しおかしいのではないか。表現を改める必要があるのではないか。
- ・ 「コミュニティ」については、「市は、コミュニティの定義、あり方、位置付けを明確にしなければならない」とあるが、「コミュニティ」は非常に幅が広いので、こんなことができるのか、という意見がでた。
- ・ 「市の責務」については、我々はこれまでの議論で、「現場に出ていろいろなことをつぶさに見て運用すべきだ」という意見があり、この考えを盛り込めないか。「市は、現場に出て、公平でわかりやすい行政をすべきである」と、現状、市民の声、市民の立場に立って、ということから、このような一文も入れられないかということである。
- ・ 前文については、リーダーから作っていただいたが、それについていろいろ意見が出た。これまでの議論で、「思いやり」、「人づくり」、「地域間・世代間の交流」を一つの軸として話してきた経過があるので、班としてはここに挙げたような文章でもう一度成文化してみようということになった。ホワイトボードに書いてあるとおりなので、読んでいただきたい。

条例制定の背景・目的

市の条例の最上位の
条例を作ること
整合性のあるまちづくり

まちづくりの主体は市民
市民参加・参画のルール化
保障するために
市民によるまちづくりのルール化
まちづくりに市民が参画できる
ことを保障するため

各区の歴史・文化を守り伝える
新上越市のまちづくりの指針とする
(多様性のある)
中心部、山間部の格差の発生を防ぐ

自分の住む地域のあり方を、
自分自身の思いが伝わる様に
したい

発表内容

- ・ まずもう一度、自治基本条例の目的や背景の確認をした。それがこのポストイットに貼ったものである。
- ・ まず、「まちづくりの主体は市民」ということ大きなポイントであり、市民参加・参画しやすくするためにルール化し、制度的に保障することが必要である。
- ・ 合併により上越市は多様性のあるまちとなったが、現在ある条例について整合性をとるために最上位の条例をつくること、整合性をとりつつ多様性のあるまちづくりを進めるための指針とすること、上越市の特徴として合併した区の思いを強く入れていくこと、という意見が挙がった。

資料 1 について

- ・ 全体的に、文言や表現を考えるという意見がでた。特に「情報」と「平等」についてである。
- ・ 「情報」については、「情報公開」のところで、「市は、市政に関する情報を市民にわかりやすく十分に公開しなければならない」とあるが、この「十分に」は言葉として表現をもう少し考える必要があるのではないか。

- ・ 「情報共有」は、「市及び市議会は、市政に関する情報を市民と共有するよう努める」とあるが、市と市民と市議会は相互関係にあるので、これでは市と市議会の2つしか関わってこないため、もう少し言い方を考える必要がある。
- ・ 「平等」については、「～ハンディを抱える人や老人を大切にしなければならない」とあるが、具体的すぎるので表現をもう少し考える必要がある。

資料 3 について

- ・ 左の表については、3班として前文に挙げていくものは、一番上の「歴史文化～を大切にする」から、「安全・安心に暮らせるまちづくりを推進する」までを入れていくべきではないか。
- ・ 「その他」の「ユニバーサルデザイン」については、具体的すぎて前文にうたうことはそぐわないのではないかと。入れるとすれば、「人にやさしい」、「誰にでもやさしい」と言い換えたいので、ニュアンスが含まれればよいのではないかと。

前文に入れるか

- ・まちづくりの主体は市民である 市民、諸団体、市議会、行政がまちづくりの主体である
- ・市民誰もがまちづくりに参画できる 条文：市民参加・参画 基本原則
- ・自主・自立のまちづくりを推進する
- ・市民一人ひとりが考え行動する 条文：市民参加・参画 意識の醸成
- ・あらゆる差別をなくし、人権を尊重する 条文：平等 人権尊重
- ・希望に輝くまちを目指す ?
- ・市民と市が情報を共有する 条文：情報 情報共有
- ・よろこびが実感できるまちをつくる ?
- ・市民が相互に信頼をもつ
- ・住民投票制度をルール化する 条文：住民投票制度
- ・快適に暮らせるまちを目指す ?
- ・観光振興のまちづくりを推進する
- ・郷土を愛する心を大切にする
- ・市民の声が市政に生かされるまちづくりを推進する 条文：市の責務
- ・全国に誇れるまちを目指す ?
- ・国際交流を図る
- ・リーダーなどの人づくりを推進する
- ・市民は権利と責務を有することを自覚する 条文：市民の権利・役割
- ・地域分権を推進する

人材

人を大切にする心や郷土愛、まちづくりに参加する意識を育てる

発表内容

- ・ 資料 2 の 4 班の意見欄に 4 班の考えが詰まっているので、読んでほしい。

資料 3 の前文について

- ・ 「人材」について、「人を大切にする心」や「郷土愛」、「まちづくりに参加する意識を育てる」という部分を前文に入れたらよいのではないか。

- ・ 右側の表の「環境」、「安心・安全」、「歴史・文化」、「人材」、「ユニバーサルデザイン」というのも、この前文にかなり取り入れてみた。

自治基本条例の目的

- ・ まちづくりの憲法であるが、今はまちづくりは行政だけではなく、市民、議会も参加している。そのためにルール化していくための憲法である。
- ・ 押し付けでないまちづくりの条例である。
- ・ まちづくりを明文化する。
- ・ 最高位の条例である。

発表内容

自治基本条例とはどういうものか、の確認

- ・ 市にある全ての条例の上位にあるもの
- ・ 自治基本条例には、手段的なものは入れる必要がない。
- ・ 具体的な内容ややり方は個々の条例にあるので、それらの条例との整合性を尊重していくことが必要である。

資料 1 について

- ・ 大項目としては章の見出しというような位置付けであり、中項目、個別内容は適切なものであれば条文の中に入り込んでくる、という方向で確認した。

資料 3 について

- ・ 前文については、5 班の提案としてはこのようにエッセンスをまとめていただいているが、目指す市の方向性というものを、もう一度議論しなければいけないのではないか。目指す市の姿としては、項目的に、右側にあるような「環境」、「安心・安全」、「歴史」、「人材」を含めたいろいろな環境面、精神面、市民が主体となっていくという大きな柱というものを前文の中に取り込んでいくべきである。
- ・ 5 班としては、「国際交流を図る」という文章があったが、もう少し拡大して視野的に広い状況でみていく必要があるということをつけ加えたい。

目的について

- ・ 何のために、という前文の内容を受けて、どのようなものを保障していくのか、保障を明確にすることによっていろいろな要素を資するものとする、というようなことで、目的というものを明確にしていく必要がある。

資料 1 について

- ・全体的に条例自体の「しぼり」は緩め、
下につく条例等をきつくするとよいのでは
- ・「男女共同参画」 … 「風習にとらわれず」は
いらぬのでは
- ・「住民投票」 … 「～制度を設けなければならない」
ではなく、「～制度をルール化
することができる」
- ・「市民参加・参画」意識の醸成 … 「市は～」と
2 つ文があるが
不要では

前文について

- ・普遍的なものを入れるべき
- ・ユニバーサルデザイン 安全・安心等にも含まれるし、特出し
しなくてよい
「次世代につなげていく」
- ・「安全・安心」、「歴史・文化」、「人材」の 3 項目で充分
(ある程度絞りこむべき ほかは条文に盛りこめばよい)
- ・「協働」は入れるべき

発表内容

資料 1 について

- ・ 私たちが 1 年間に渡って話し合ってきたことの中身を整理したものであるが、言葉の表現として、私たちがずっと話し合いをしてきたことが、この文章を見る限りではなかなか伝わっていないのではないか。もう少し文章の中身を整理する必要があるのではないか。
- ・ 班の中で大項目についていろいろ取り上げて議論したが、個別内容の中で整理されてしまっていて、表現として、このように言っつもりではないが、という表現になっているものがいくつかあった。そのようなところを踏まえて、各班の意見をもう少し個別内容とともに、書き出していただけたらと思う。
- ・ 詳細はホワイトボードに書き出してあるので、あとで議事録をみてほしい。

資料 2 について

- ・ 前文に入れ込むべき内容について各班からいろいろ意見が挙がっているが、6 班は一番短くあっさりとして簡潔に並べてある。

- ・ 資料 3 と合わせて出た意見として、ある程度まとめて表現したほうがよいような項目があれば、それらはまとめて表現するのがよいのではないか。例えば、「環境」と「歴史・文化」は、一緒に一つの文章にして表現したほうがすっきりとわかりやすいのではないか。
- ・ 前文の中に盛り込む言葉として、例えば「協働」や「分権」や「コミュニティ」は、どのような定義で文章の中に盛り込んでいけばわかりやすくなるのか、というところをもう少し検討すべきではないか。
- ・ 全体的な前文の文章としては、できるだけ長くなくすっきりと表現を短くまとめたほうがわかりやすいのではないか。その中で、今言った必要な項目は盛り込んだほうがよいのではないか。短くすっきりと、という中で全ての項目を入れるのはなかなか難しいが、それは次の課題で検討していただきたいと思う。
- ・ ユニバーサルデザインの精神については、条例全体の中に盛り込んであるということがわかれば、それで意味がわかるのではないか。あえてユニバーサルデザインというところで取り上げなくてもよいのではないか。